

[illegible]

これまでの エコ学区



モデル学区とは？ その2

平成23・24年度に、各区・支所から1学区ずつ、山科区は全学区がモデル学区として、地域実験や省エネ診断（くらしの匠事業又は、うちエコ診断事業）等、地域ぐるみのエコ活動に取り組んでいただきました。第1号にひきつづき、地域ぐるみのエコ活動をご紹介します。

九条学区（南区）

「エコクイズと演劇」 ～地域コミュニティでの啓発～

演劇を交えたエコ活動を展開！地域のお祭りで学区役員によるエコクイズをブコの俳優が寸劇で盛り上げました。また、演劇ワークショップを通して「伝えるコツ」を身につけた大人たちが、弘道学区と東梅逕学区の児童も通う九条弘道小学校で、こどもたちに劇を発表しました。楽しみながらエコを意識してもらう取組を通して、大人たちもエコ知識を楽しみながら学ぶことができました。



梅津学区（右京区）

「食をとおしたCO2ダイエット」 ～くらしまるごとCO2チェックリスト～

家庭からのCO₂排出量を簡単に測定できるチェックリストを作成！おとな版とこども版を作成することであらゆる世代が参加できました。また、身近な「食」を切り口として、フードマイレージ（食料の輸送量と輸送距離をかけあわせたもの）に関する体験や学習会を実施。学区住民のデザインによる独自のエコキャラクターも生まれました。



松尾学区（西京区）

「『エコ』と『防災』で考えるライフスタイル」 ～クロスロード エコ・防災編～

カードを使った防災対応ゲーム「クロスロード」のエコ・防災編を作成！一見全く違う問題に思える「エコ」と「防災」を暮らしや地域活動に密接に関わる問題として身近に感じることができました。また、京都の地理的特性や環境問題を踏まえた体験を通して、住民同士が世代を超えてアイデアを出し合い、エコ・防災アクションリストを作成し、学区全戸に配布しました。



境谷学区（洛西支所）

「ホットお助けプロジェクト」 ～省エネグッズ実践体験～

住宅の「熱」や「温度」に着目！学習会では、モデル世帯を設定し、室内の温度を測るサーモカメラを使用して「熱の逃げ道調査」、「省エネグッズを使った簡易なリフォーム」など省エネに関する知識や行動を広げました。その後も「温度」に着目したグリーンカーテンが地域に広がっています。



下鳥羽学区（伏見区）

「下鳥羽エコ交通のすすめ！」 ～エコドライブと公共交通の利用促進～

クルマを「かしこく」使うことで効果的にCO₂を削減！学区をコースにみため、お互いに指導しながら実際にエコドライブの講習を行いました。また、地元営業拠点を持つ運輸会社の協力を得て、エコ交通学習会を実施！地域ぐるみで財布に優しく、ひとに優しく、地球に優しい取組を行いました。



藤城学区（深草支所）

「エコと交通」 ～マイカーの運行を減らすことはできないか～

エコドライブの推進と乗合自動車による交通実験を実施！最寄り駅からのバス路線がなく、また丘陵地にある同学区では「『つつい』マイカーに乗るのを減らす」「クルマのよりよい乗り方・選び方を知る」「さまざまな『乗り合い』を実行して、『マイカーに頼りすぎない生活』を地域みんなで増やす」の3本柱でかしこいクルマの使い方に取り組みしました。



春日野学区（醍醐支所）

「親子エコライフチャレンジ」 ～家族で取り組むエコ体験～

京都市立小学校で行われている「こどもエコライフチャレンジ」を親子で体験！家族で話し合いながらエコライフを2週間実践しました。各家庭での省エネ効果や発見したことを「我が家のエコライフチャレンジ宣言」として、学区住民のお祭り「春日野エコまつり」の会場で発表しました。

